

おお大勝利

平成 22 年度山東サッカー部報第 5 号 (5 月 26 日)

サッカー部保護者の皆様、OBの皆様、日頃より本校サッカー部の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。

Yリーグ 城北に勝利 流れに乗って県総体へ

先日 5 月 23 日(日)に Y リーグ第 4 節 2 試合が行われました(もう 2 試合は 22 日に実施)。山東は城北と対戦。今回は監督の今野が 1 年生恒例の岩手研修旅行の引率により不在となったため、もう一人の顧問遠藤が監督代行となり、試合に臨みました。昨年度、今野が不在の時もそうだったのですが、山川保護者会長が試合後、詳細な分析を作成してくださいました。今回は山川保護者会長号ということで、お送りいたします。

今日のゲームもし試合後に監督の記者会見があったらサッカージャーナリストの湯浅健二氏なら必ずこういう質問をいただろう。

「現チームになって約一年。90分のゲームで失点ゼロに抑えたのは初めてだけど、どうしてよりによって監督が不在の時にあのような高い守備意識で90分間プレーすることができたのか。一体今野監督はどういう心理マネジメントをしているのですか？」

このチームは一年間90分ゲームで失点ゼロを体験していない。決して今までのDFが悪いというわけではないのだがなぜか失点をしてきた。得点力の高い、しかも点を取れるチームなのでその帳尻を合わせるかのように点も取られてきた。それが今日は・・・。

試合開始のホイッスルが鳴り両チームが何かを探るような展開が続く。先に仕掛けてきたのは城北。FW、両サイドの前にボールを運ぼうという意図が見えてきた。徐々に球際も激しく、プレッシャーも厳しくなってくる。それに合わせるかのように山東は、田嶋・博愛の両ボランチが厳しく体を入れていく・・・という展開。

とまあここまではよくある展開。今日の山東はここから。相手ボールになった時の寄せが早くDFにおいて数的優位を素早く作っていく。しかもそのカバーリングが素晴らしい。両ボランチはもちろん、サイドハーフとサイドバックの見事な連携。したがってCBが必ずストッパーという役割に徹せられる(これなら2列目からの飛び出しにも対応できる)。ん～いいぞ～。

<前年同じ城北戦、しかも今野先生不在という同じシチュエーション。彼らは見事な「有機的なムービングサッカー」を展開していった。どちらかというそれは攻撃面での要素がおおきかったが、今日は守備面での「チェイス&チェック・有機的なリスクマネジメントサッカー」を随所に展開していく。>

そういった今日の流れ・・・相手のボールを奪い素早くFW、または両サイドに展開していく山東。そのスピードが以前よりも早い。しかも2列目の選手の攻撃参加の意識が高く分厚い攻撃を仕掛けていく。だんだんと山東のペースになっていく。しかしこちらの仕掛けに対し城北も一歩も引かない。激しくプレッシャーをかけてきて攻撃の芽を摘んでいく。となるとボールを失ったときにショートカウンターを食らうことが多いのだが・・・そして山東からボールを奪うと一気に攻めて・・・というわけにはいかなかった。

攻撃を仕掛けた山東がボールを奪われると2列目3列目の選手が激しくチェイシングを掛け、そして必ずあいたスペースにそれを埋めるもう一人の選手(この瞬間だけ山東はピッチ上に12人いた?ような感じ)が入って

くるというまさに高い守備意識。

何故だ？何故今日はこんなことができる？

ボールを奪った城北も山東を一気に崩せない。数的優位を素早く作られ、しかもチェイシングをかけられ、さらに瞬時に体を入れられるので城北の選手も自由にボールを扱わせてもらえないのだから……。そうシュートまでいってもコースを切られているのでキーパーとしてはそれほど怖くないはず。

山東は素早い攻撃の展開からシュートまで持ち込むもののキーパーの正面だったり、セットプレーにおいてもタイミングは合っているものの城北の粘りに合っかなかゴールを割れない。

といったところで前半終了。

さて後半。どこで試合が動くか。

あ～危ない！後半立ち上がり、遠目からの強烈なミドルシュート。かろうじてキーパー五十嵐が触りボールはバーにはじかれる。タイミングをはかった見事な集中力！お見事！あっそうそう。五十嵐君最近パワーのつくもの食べましたか？なんかキック力向上したような。これならキーパーからのボール、3タッチでゴールできるね（ソー チャンピオンズリーグのインテルみたい！）

さあ、これで目が覚めたか山東。前半のリズムを取り戻すと徐々に攻撃の時間が長くなる。見ている人からするとちょっとやきもきする展開に。そして……。そのやきもきがイライラに変わってきそうな時間帯に突入～。

しかしここで賢祐の見事なパスが相手 DF の門を通り滉也の前へ。キーパーが出てきたところを落ち着き払ってゴールへパス！見事な先制点！それにしても賢祐の「滉也君このパスを受け取ってください」という願がこもったかどうかわかりませんがそのくらい見事な気持ちの入ったパスでした。それに見事にこたえた滉也。2人の息の合った瞬間でした。保護者サイドは喜びと安堵の歓声。いかんいかん。これからこれから。

そしてロスタイム。松永の駆け引きに見事に裏を取られた相手 DF。強くしかも抑えた正確なシュートがネットを揺らし2 - 0。

失点ゼロはサッカーにおいて珍しいことではない。しかし県総体前のこの時にこれだけ高い守備意識を90分間続けられたことに今日のゲームの内容は意義深かったと思います。

攻撃を仕掛けていくことと結果。そしてその裏にあるリスクマネジメント。今までやってきたことが正しかったこと。等々。さあ自分を信じて、仲間を信じて喜びと感謝を胸に県総体に臨んでほしいと思います。

海を渡れ！！！！サッカー部。

さて、冒頭の記者会見。

「さすがに今野監督。心理的マネジメントも含めて、進むべきサッカーのベクトルがとてもいい方向に進んでいますね～。ベクトルは地に足が付いていないといいほうに伸びていきませんから。これからますます楽しみになってきました！」

PS 今日一番ほっとした人……。たぶん遠藤先生。おそらくかなりプレッシャーあったと思います。しかしさすがアスリート。「間」を読むというか……「動くこと」「自分から動かないこと」凄く今日は難しい判断だったと思います。遠藤先生にもあっぱれ！お疲れさまでした！

遠藤監督代行談

まずは勝ってほっとしました。立ち上がり、自分たちのミスでリズムに乗ることができず、苦しい展開に。その中で後半ゴールを奪い勝てたことは、今週末から始まる県総体につながると思います。
(ちなみに遠藤代行は、試合後、試合中エキサイトしすぎた自分を反省し、頭を丸めました)

次戦 いよいよ県総体本番です。保護者の皆様、保護者OBの皆様、OBの皆様、応援よろしく
お願いいたします。

県総体第1ラウンド 5月30日(日)山形東 VS 鶴南と新北の勝者 13:00～@山形商業